

第4期米沢市水道事業中期経営計画 事業実施状況

○:実施した
△:一部実施
×:実施せず

基本施策		事業名・事業概要		新規 継続	実施予定 時期	令和3年度 実施状況	令和3年度実施内容
安 全	① 水質管理体系の強化	ア 水安全計画の策定	信頼性(安全性)の高い水道水を供給するため水系ごとに水安全計画を策定します。	新規	H29～R1	○	令和2年度に策定した水安全計画について適正に運用した。
		イ 水質検査計画の策定・公表	毎年度水質検査計画を策定し公表するとともに、水質検査結果も毎月公表します。	継続	H29～	○	水質検査計画を公表し、水質検査結果を毎月公表した。
	② 良質な水の追求	ア 老朽管更新	老朽化した普通铸铁管を耐震管に布設替えします。	継続	H29～R2	—	令和2年度までで老朽管の耐震化は完了した。
		イ 鉛製給水管交換	宅地内の鉛製給水管を新しい給水管に交換します。	継続	H29～	○	計量法に基づく量水器の交換時に、145件の交換を行った。
		ウ 貯水槽水道設置者への指導・助言	安全な水が給水されるよう、貯水槽水道の設置者に対し指導・助言を行います。	継続	H29～	○	簡易専用水道検査結果報告に基づき、指導助言を行った。
③ 自己水源(地下水)の保全	ア 自己水源の点検・整備	非常用水源として、成島及び南原の地下水源の点検・整備を行います。	継続	H29～	○	非常用水源として、成島及び南原の地下水源の水質検査及び点検を行った。	
強 靱	④ 管路の計画的更新(耐震化)	ア 重要管路の耐震化	重要管路耐震化計画(米沢市地域防災計画に基づいた、避難所・病院等への重要管路である送水管、配水本管及び配水支管の耐震化計画)に基づき、配水管の耐震化を図ります。	新規	H29～	○	重要管路の耐震化を実施した。L=1,831m
		ア アセットマネジメントの実施	更新需要と財政状況を勘案し、老朽施設(管路を含む。)の計画的な更新を図ります。	継続	H29～	○	新水道事業ビジョン(中間見直し)の策定に合わせて、新たに令和101(西暦2119)年度までを実施期間とするアセットマネジメントを実施した。また、アセットマネジメントに基づき、計画的に老朽管の更新を実施した。
	⑤ 施設の計画的更新(耐震化)	イ 水道施設の耐震性評価・耐震化計画の策定	配水池など水道施設の耐震診断を行い、耐震化計画を策定し、耐震化を図ります。	新規	H29～	—	H29年度に館山配水池及び小野川配水池の簡易耐震診断を実施済。
		ウ 館山配水池の更新	老朽化した館山配水池を更新します。(※⑦イ館山配水区受水施設整備に合わせて更新します。)	新規	R2～3	○	新配水池の実施設計業務の発注を行った。
		⑥ 応急体制の強化	ア 各種マニュアルの整備(見直し)	水質汚染事故、地震、濁水等に備え、対応マニュアルを随時見直します。	継続	H29～	○
	イ マニュアルに沿った訓練の実施		災害時に適切な応急復旧・給水を行うため各種マニュアルに沿った訓練を実施します。	継続	H29～	○	8月4日に置賜広域水道応急給水訓練を実施した。

第4期米沢市水道事業中期経営計画 事業実施状況

○:実施した
△:一部実施
×:実施せず

基本施策		事業名・事業概要		新規 継続	実施予定 時期	令和3年度 実施状況	令和3年度実施内容
持 続	⑦ 施設規模の適正化	ア 配水計画の見直し	老朽化した舘山浄水場を廃止し県水からの受水を増量することに伴い、配水計画を見直します。	新規	H29	○	新舘山受水施設の実施設業務の発注を行い、新たな配水計画の見直しを行った。
		イ 舘山配水区受水施設整備	県笹野浄水場から舘山配水区への受水施設を整備します。	新規	H29～R3	○	新配水池の実施設業務の発注を行った。
	⑧ 事業経営の効率化	ア 民間委託の推進	水道施設運転管理業務や水道料金等収納業務の民間委託を継続するほか、民間委託の対象となる業務の拡大や見直しを行います。	継続	H29～	○	水道施設運転管理業務及び水道料金収納等業務について、令和元年度に3年間の長期継続契約を締結した。
		イ 簡易水道事業経営のあり方の検討	独立採算が難しい白布高湯簡易水道事業及び板谷簡易水道事業のあり方を検討します。	新規	H29～	△	引き続き検討中。
		ウ 広域化の調査・研究	水道事業の広域化について調査研究を行います。	継続	H29～	○	県が主催する置賜広域連携検討会において、施設の共同設置・共同利用、事務の広域的処理等を行った場合のシミュレーションパターンを作成し、将来の広域連携の在り方について検討した。
	⑨ 職員研修の充実	ア 各種研修への参加	水道事業における専門的知識や技術の習得のため各種研修会に参加します。	継続	H29～	○	日本水道協会や公的機関が主催する研修に参加し、知識や技術の習得に努めた。
		イ 指定給水装置工事事業者の研修の実施	本市指定給水装置工事事業者を対象とした研修会を実施し、レベルアップを図ります。	継続	H29～	×	新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
	⑩ 水道料金の適正化	ア 適正な水道料金の算定	平成31年度以降の上水道料金について新たな料金算定期間を設定し、事業運営に見合った料金を算定します。	継続	H30	○	上下水道事業経営懇談会に経営状況等を説明した。
		イ 料金体系の検討	現在使用している逦増型料金体系を検証し、今後の水道料金体系について検討します。	新規	H29～	○	上下水道事業経営懇談会に経営状況等を説明した。
	⑪ 料金収納率の向上	ア 債権管理の強化	収納率の向上を図るため、債権管理を適切に行います。	継続	H29～	○	適切な債権管理に努めた。 収納率95.02%
	⑫ お客さまサービスの充実	ア インターネットによる各種手続きの導入	使用開始(開栓)や使用中止(閉栓)などの申し込みをインターネットで行うことができるよう検討し、導入します。	新規	H29～	○	平成29年12月からEメールによる受付を行っている。 実績357件
		イ 広報・ホームページによる情報提供	水道事業に係るさまざまな情報を広報よねざわやホームページを活用して積極的に情報の提供を行います。	継続	H29～	○	広報よねざわ、市公式フェイスブック、LINE及びスマホアプリ「モバ支所」により水道事業に係る情報を提供した。

第4期米沢市水道事業中期経営計画 事業実施状況

○:実施した
△:一部実施
×:実施せず

基本施策		事業名・事業概要		新規 継続	実施予定 時期	令和3年度 実施状況	令和3年度実施内容
持 続	⑫ お客さまサービスの 充実	ウ 水道事業独自の広報紙の発行	お客さまに水道事業をより理解していただくため、水道事業独自の広報紙を発行します。	新規	H29～	○	9月1日に第6号を発行し、「防災の日(9月1日)」に合わせて本市水道事業における防災対策の紹介やご家庭での備えについて掲載した。また、併せて漏水発生時の対応方について掲載した。4月1日に発行した第7号では、令和4年度に予定している主な事業や、令和4年度から8年度を計画期間とする「米沢市新水道事業ビジョン(中間見直し)」掲載内容について紹介した。
		エ 水道事業経営懇談会の開催	お客さまの意見、要望を事業運営に反映するため、水道事業経営懇談会を開催します。	継続	H29～	○	第1回～第3回の懇談会を開催し、事業運営等について委員より意見をいただいた。
		オ 水道施設見学会の実施	全国水道週間に合わせ、市内水道施設の見学会を実施します。	継続	H29～	×	新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。
		カ イベント出展等によるPR	水道事業のPRのため、市主催のイベントに出展します。	継続	H29～	×	新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントが中止となった。
	⑬ 水資源の有効利用	ア 漏水調査	毎年度計画的に配水管、給水管の漏水調査を実施します。	継続	H29～	○	延長(配水管)239kmの漏水調査を実施した。
		イ 漏水修理	漏水を発見したら迅速に修繕を行います。	継続	H29～	○	130件の漏水修理を実施した。
	⑭ 環境対策の推進	ア 浄水発生土の有効利用	浄水過程で生じる汚泥(浄水発生土)の有効利用を図ります。	継続	H29～	○	浄水発生土を埋戻し材として再利用を行った。
		イ 建設発生土のリサイクル	水道工事における建設発生土のリサイクルに取り組みます。	継続	H29～	○	建設発生土を埋立地に流用しリサイクルを行った。
		ウ 省エネ行動の実践	事務用品の再生品使用、休憩時間の消灯、室内温度の適正化などに取り組みます。	継続	H29～	○	事務用品のグリーン購入やこまめな室内温度管理を行うとともに、クールビズに取り組んだ。

第4期米沢市水道事業中期経営計画 目標(中期指標)の達成状況

項目	目標、経営指標	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
		実績値	実績値	実績値	目標値	実績値	評価
需要予測	給水人口	80,564	79,627	78,742	79,825	77,746	
	年間配水量	9,881,509	10,103,059	10,223,622	9,614,465	10,112,892	
	1日平均配水量	27,073	27,604	28,010	26,341	27,707	
収益的収支	営業収益	1,865	1,819	1,561	1,787	1,796	○
	営業費用	1,564	1,564	1,575	1,865	1,602	○
	経常損益	402	357	98	21	299	○
	特別損益	0	0	0	0	0	○
	当年度純利益	402	357	98	21	299	○
資本的収支	収入計	93	1,060	26	38	48	○
	支出計	490	450	582	1,902	657	○
	不足する額	397	0	556	1,864	609	○
	内部留保資金残高	3,810	5,114	5,036	1,703	5,110	○
設備投資計画	老朽管更新事業	240	118	78		注1 94	
	舘山配水区受水施設整備事業	0	0	0	1,300	注2 50	×
	重要施設耐震化事業	30	195	250	344	283	×
	配水管布設・布設替事業	25	40	108	60	97	○
	汚水管布設に伴う水道管移設事業	16	3	0	30	注3 5	—
	施設・機器・計器等整備事業	38	17	11	51	注4 11	—
	営業設備	34	3	22	5	注5 3	—
企業債残高	企業債残高	1,190	1,083	973	860	860	○
中期指標	有収率(%)	85.5	82.1	81.4	88.9	83.00	×
	総収支比率(%)	125.2	122.5	106.1	101.1	118.43	○
	営業収支比率(%)	119.2	116.3	99.1	95.8	112.16	○
	職員給与費対料金収入比率(%)	11.3	12.6	13.4	12.0	13.09	×
	収納率(%)	94.9	94.8	94.1	94.5	95.02	○

※評価は令和3年度米沢市公営企業会計決算審査意見書(米沢市監査委員)による

注1 老朽管更新事業の目標値は、令和2年度に事業を終了する予定であったため設定されていない。なお、令和3年度の実績値については、令和2年度からの繰越分を行ったものである。

注2 舘山配水区受水施設整備事業について、目標値は工事費を見込んでいたが、事業の遅れ(用地取得に時間を要するため)により、令和3年度は設計委託を行った。

注3 汚水管布設に伴う水道管移設事業は、参考値としているもので、評価外とした。

注4 落雷等の自然現象による、機器の故障等の緊急の修繕を想定した計画としていることから評価対象としない。

注5 給水車の買替え等を予定していたが、前年度に購入していることから評価対象としない。

○総収支比率…総費用が総収益によってどの程度賄われているかを示す。100%以上が望ましい。

○営業収支比率…営業費用が営業収益によってどの程度賄われているかを示す。高いほどよい。

○職員給与費対料金収入比率…料金収入に対する職員給与費の割合。低いのが望ましい。

○収納率…使用された水量に係る料金のうち、実際に収納された料金の割合。高いほどよい。